

生体医工学誌に投稿する際の原稿のテンプレート

生体 太郎*, 生体 次郎**

年 月 日 受付

* 東都大学工学部電子工学科

** (株)難波電気工業研究部

タイトルが 18 文字を超える場合の略題

The Template for Seitai Ikohgaku, Official Journal of Japanese Society for Medical and Biological Engineering

Taroh Seitai*, Jiroh Seitai**

* Department of Electronics Engineering, College of Engineering, Tohto University, Tokyo, Japan.

** Department of Research and Development, Namba Electronics Industry Inc., Higashi-Osaka, Japan.

The Template for Seitai Ikohgaku (abbreviated title)

Received 受付日付(空欄のこと)

Revised 再受付日付(空欄のこと)

Abstract

The English abstract is presented here. That cannot exceed 350 words

Keywords: biomedical engineering, journal, template, article, text.

要旨

日本語の要旨をここに記入してください。これは abstract を校正するために使用しますので, abstract と内容が一致するように留意してください。

1. はじめに

これは, 生体医工学誌へ論文を投稿する際のテンプレートである.

2. 方法

脚注の例¹.

3. 理論

3.1 節

3.1.1 小節

参考文献への参照は[1]となる.

Fig. 1 は図の例である. 刷り上がりで実際に図が入る場所に, 実寸で入れる.

4. 結果

表 1 表の例.

Table 1 Example of a table.

algorithm	precision [%]	computational time [sec]
back projection	10	60
OSEM	15	75

5. 考察

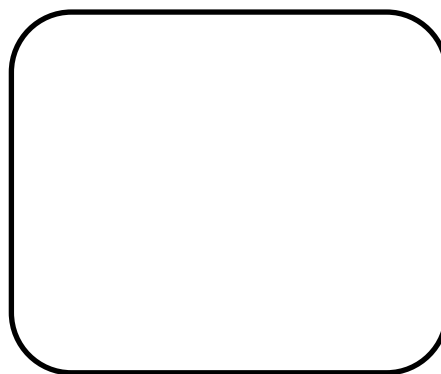


図 1 図は所定の場所に挿入する.

Fig. 1 A figure should be placed its desired position.

6. おわりに

利益相反

(下記に該当する場合は、ここで開示する.)

本研究は〇〇〇〇からの資金提供を受けた。

本研究は〇〇〇〇からの受託研究によってなされた。

〇〇〇〇の検討にあたっては、〇〇〇〇から測定装置の提供を受けた。

〇〇〇〇から役員報酬(講演料或は特許収入料等)を得ている。

(資金などの提供がない場合)

日本生体医工学会の投稿規定の基準による開示すべき利益相反関係は無い。

倫理的配慮

ヒトや動物を対象とした実験などを含む場合は、ここに倫理審査やインフォームド・コンセントなど倫理的な事項について書く。

謝辞

謝辞はここに書く。資金的援助などについても含める。

文献

[1] 山田太郎, 上田次郎: CT 画像を用いた形成外科手術計画支援システム. 生体医工学. 43(1), pp. 337-342, 2005.

¹ 脚注の例.

- 1 [2] Kohne KH, Yamaguchi T, Bernstein R: Interactive
2 methods for nonlinear optimization problems. IEEE
3 Trans Med Imag. **MI-5**(1), pp. 45-47, 1986.
- 4 [3] Born M, Wolf E: Principles of Medical Engineering,
5 2nd ed. Pergamon Press, New York, pp. 69-94,
6 1988.
- 7 [4] 山田太郎: 生体医工学の新しい地平. ○○出版,
8 東京, pp. 5-15, 2005.